

# 1 . 火災

名 称	発生年月日	被害の概況等
三浦山林火災	元禄 6 (1694)	三浦山付近 140ha 焼失
淀地家屋火災	文政 13.4.6(1831)	淀地 13 戸全焼
上島家屋火災	天保 5.4(1835)	上島 23 戸全焼
上島家屋火災	安政 7.7.10(1861)	上島 13 戸 17 棟全焼
三沢家屋火災	文久 2.4.8(1863)	三沢 19 棟全焼
下条家屋火災	慶応 2.6.2(1867)	下条 13 戸全焼
下条家屋火災	明治 18.5.22	下条 26 戸 37 棟全焼
二子持家屋火災	昭和 6.9.7	二子持 5 戸
樽沢山林火災	昭和 27.5.3 午前 10 時	原野、村有林 焼失 3 町歩
小三笠山山林火災	昭和 30.12.5	小三笠山 20ha
鞍馬家屋火災	昭和 45.11.25 午前 5 時 10 分	鞍馬 全焼 2 棟 ( 389 m <sup>2</sup> ) 半焼 1 棟 ( 128 m <sup>2</sup> ) 倉庫 2 棟 焼失
御嶽山頂上小屋火災	昭和 46.8.30 午後 1 時 30 分	天気 : 雨、風速 20m ( 台風時 ) 被害額 25,000 千円
大原地籍山林火災	昭和 48.5.11 午後 0 時 30 分	天候 晴れ
氷ヶ瀬国有林火災	昭和 48.6.3 午後 2 時 15 分	2ha 焼失
蜂淵林野火災	昭和 48.7.19	蜂淵 45ha
東区建材会社火災	昭和 49.3.9 午前 11 時 50 分	天候 晴れ 事務所 全焼
中越藤淵地籍土手火災	昭和 49.3.29	
御岳高原火災	昭和 53.6.3 午後 0 時 15 分	1,500 m <sup>2</sup> 焼失
池沢地籍山林火災	昭和 53.11.9 午後 4 時 45 分	1,500 m <sup>2</sup> 焼失
小川家屋火災	昭和 57. 3.28	小川住宅兼物置 104.76 m <sup>2</sup> 車庫 44.85 m <sup>2</sup> 焼失
樋干沢国有林火災	昭和 57.4.28	275 林班火災 原野 1.0ha 焼失
氷ヶ瀬造林宿舍火災	昭和 59.9.14	天候 曇り 宿舍 4 棟全焼 被害額 63,192 千円
田島寄宿舍火災	昭和 60.4.6	天候 曇り、無風、気温 10

名 称	発生年月日	被害の概況等
	午後 10 時 5 分	作業員宿舎 1 棟焼失 焼損面積 60 m <sup>2</sup>
里宮参道火災	昭和 60.11.12 午後 5 時 33 分	雑木等焼失
松原物置火災	昭和 60.11.15 午後 4 時 21 分	天候 曇り、物置 1 棟焼失 焼損面積 9.9 m <sup>2</sup>
滝越国有林火災	昭和 62.4.21 午前 8 時 20 分	三浦国有林 555 林班の 2(滝越造林宿舎裏) 天候 晴れ、気温 18 焼損面積 8a 焼失(草地)
三浦国有林火災	昭和 62.6.6 午前 9 時 20 分	三浦国有林 584 林班 天候 晴れ、気温 27 被害額 8,647 千円 焼損面積 6.37ha 焼失
東区旅館火災	昭和 63.4.26 午前 2 時 35 分	天候 曇り、気温 10 住宅、旅館、物置を全焼 焼損面積 1,431 m <sup>2</sup> 焼失
中越区家屋火災	平成 2.3.21	倉庫 1 棟全焼
三浦国有林火災	平成 2.11.9	28a
滝越地区家屋火災	平成 9.2.23	住宅 1 棟全焼
滝越地区家屋火災	平成 11.4.21	住宅 1 棟全焼
樽沢国有林火災	平成 11.5.13	11.37ha
野口区池の越火災	平成 12.5.3	376 m <sup>2</sup>
高原分譲地 宅地(原野)火災	平成 14.4.1 覚知 11:30 鎮火 11:50	隣の敷地 100 m <sup>2</sup> 延焼
鞍馬地区家屋火災	平成 16.3.16 覚知 22:20 鎮火 1:20	住宅 1 棟全焼

## 2 . 風水害

名 称	発生年月日	被害の概況等
集中豪雨	昭和 33.8.26	牧尾ダム仮堰堤決壊 下流町村被災 御嶽山日雨量 187mm
伊勢湾台風	昭和 34.9.26	住宅、公共施設
第 2 室戸台風	昭和 36.9.16	耕地に被害
台風 20 号被害	昭和 39.9.23 ~ 9.25	<p>雨量 9 月 23 日-----5 mm            9 月 24 日----- 148 mm            9 月 25 日----- 74 mm            計----- 227 mm            午前 8 ~ 9 時 --- 29 mm            9 月 25 日 9 ~ 10----- 31 mm            10 ~ 11----- 30 mm            計 -----90 mm</p> <p>(統計上は午前 8 ~ 9 時までには前日の 24 日に含まれる。)</p> <p>住宅等 (屋根) 20 棟</p> <p>土木関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大又川、王滝川、鈴ヶ沢堤防流失</li> <li>  県道土砂崩壊 4 ヶ所</li> <li>・鈴ヶ沢中越橋流失</li> <li>・庄原、うしげ等丸太橋流失 数ヶ所</li> <li>・道路路面災害 全道路</li> <li>・被害額 10,000 千円</li> </ul> <p>農地関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・池の越他数地区</li> <li>  水田 50 流失</li> <li>  畑 10 埋没</li> <li>  被害額 10,000 千円</li> </ul> <p>林道関係 (路面被害)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樽沢線 3 ヶ所</li> <li>  幅員 4.0m</li> <li>  延長 77.0m</li> <li>・八海山線 2 ヶ所</li> <li>  幅員 3.6m</li> <li>  延長 162.0m</li> </ul>

名 称	発生年月日	被害の概況等
台風 10 号災害	昭和 44.8.27	日向渚地籍が大崩落 林鉄敷 280m 埋没
秋雨前線豪雨	昭和 46.9.4 ~ 9.7	雨量 316 mm、滝越発電所 579 mm 村内被害箇所 約 100 ヶ所 被害額 土木関係(道路、橋) 3 億円 林道等 300 万円 耕地関係 1,200 万円 水道関係 100 万円 総額 3 億 2,000 万円
台風 10 号災害	昭和 57.8.2	九蔵地区用水路の石積み流失 20m
台風 10 号災害	昭和 58.9.28	降雨量 9 月 27 日 (1:00) ~ 28 日 (21:00) 263 mm 床下浸水 9 世帯 39 人 農地 0.63ha、農業用施設 13 ヶ所 林道等 24 ヶ所、道路・河川 24 ヶ所 被害総額 50,009 千円
台風 6 号災害	昭和 60.6.30	鈴ヶ沢増水により九蔵区住民に避難指示 午後 6 時 30 分 3 世帯 10 人 王滝川増水により野口区住民に避難指示 午後 6 時 30 分(国民宿舎) 4 世帯 17 人
梅雨前線豪雨	平成 11.6.27	雨量が 27 日 10 時から 11 時の 1 時間で 70 ミリ を記録 松原地区 3 世帯に正午過ぎ護岸決壊の恐れが あるため避難勧告 午後 2 時に解除 村道第 1 号線瀬戸川橋先で道路決壊 応急工事により翌日午後 4 時に通行止解除 村道第 41 号線第 7 ゲレンデ付近の道路が 100 m 程陥没 (路盤砂利洗堀) 人的・住宅被害無し 農林土木 総被害額 千円
台風 7 号災害	平成 14.7.15	14:00 -15:00 時間雨量 田の原 35 ミリ、滝越 42 ミリ 連続雨量 松原 138 ミリ、滝越 255 ミリ 田の原 260 ミリ

名 称	発生年月日	被 害 の 概 況 等
		村道第 41 号線 17 : 00 - 7 : 30 通行止 県道王滝加子母付知線 鈴が沢橋で通行止 村道第 27 号線上黒沢橋通行止 人的・住宅被害無し 農林土木 総被害額 千円
台風 23 号災害	H16.10.21	連続雨量 松原 235 ミリ、滝越 265 ミリ 田の原 289 ミリ 村道第 42 号線沢部の土砂流出により通行止め 付近住民 2 世帯自主避難 村道第 38 号線氷ヶ瀬土砂崩れにより通行止 村道第 23 号線溝口、48 号線庄の森・樽沢 砂 利道洗堀と路肩崩壊により通行止 人的・住宅被害無し 農林土木 総被害額 千円

## 03 . 地震・噴火

名 称	発生年月日	被害の概況等												
濃尾地震	明治 24.10.28	王滝村推定震度 4～5 墓石等が倒れる。												
御嶽鳴動	明治 25.4.1	御嶽鳴動												
三浦地震	明治 27.5.18	M 4.3 地獄谷の大崩落、濁川、赤川、白川の合流点が上流へ移動、後の豪雨により大量の土砂が流出する。												
群発地震	昭和 51 年～ 55 年	51.8～52.1.12 までの観測回数 <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>8 月</td><td>6,758 回</td></tr> <tr><td>9 月</td><td>1,980 回</td></tr> <tr><td>10 月</td><td>620 回</td></tr> <tr><td>11 月</td><td>540 回</td></tr> <tr><td>12 月</td><td>372 回</td></tr> <tr><td>1 月</td><td>168 回</td></tr> </table> 51.9.21 M 4.2、M 4.3 53.10.7 午後 5 時 45 分 M 5.6 深さ 20km 各家庭の棚上のもの落ちる。村道(滝越までの)各所で落石、亀裂発生のため午前中通行止め。 氷ヶ瀬付近の落石により滝越への電話線が切断され午後 3 時 30 分まで不通となる。 御嶽登山道で霊神碑が 10 数本倒れる。 有感地震の回数 10 月 7 日から 10 月 15 日 震度 4 程度のもの    1 回 震度 3 程度のもの    1 回 震度 2 程度のもの    20 回 震度 1 程度のもの    18 回 音だけのもの        13 回 10 月 16 日から 10 月 31 日 震度 2 程度のもの    5 回 震度 1 程度のもの    4 回 音だけのもの        12 回	8 月	6,758 回	9 月	1,980 回	10 月	620 回	11 月	540 回	12 月	372 回	1 月	168 回
8 月	6,758 回													
9 月	1,980 回													
10 月	620 回													
11 月	540 回													
12 月	372 回													
1 月	168 回													
群発地震	昭和 51 年～	11 月 1 日から 11 月 15 日												

名 称	発生年月日	被 害 の 概 況 等
	55 年	震度 3 程度のもの 1 回 震度 2 程度のもの 3 回 震度 1 程度のもの 5 回 音だけのもの 5 回 11 月 16 日から 12 月 5 日 震度 3 程度のもの 1 回 震度 2 程度のもの 1 回 震度 1 程度のもの 3 回 音だけのもの 5 回
御嶽山噴火	昭和 54.10.28	降灰により山小屋・登山道が被災し、二の池、王滝川、牧尾ダムが大量の火山灰の流入により汚染される。
長野県西部地震	昭和 59.9.14 午前 8 時 48 分	規模 M 6.8 震度 王滝村推定 6 震源地 木曾郡王滝村御嶽山付近 (東経 137°33.6 北緯 35°49.3 ) 震源 深さ 2km(推定) 余震 2,985 回 9 月 15 日 午前 7 時 14 分 M 6.2 10 月 3 日 午前 9 時 12 分 M 5.5
		被害概要 ・ 人的被害 死者 14 人(遺体確認) 行方不明 15 人(死亡認定) 重軽傷者 5 人 ・ 家屋の被害 全壊 14 棟、半壊 73 棟 一部損壊 340 棟 ・ 公共土木施設被害 河川 10 ヶ所、砂防施設 1 ヶ所 道路 120 ヶ所、橋梁 11 ヶ所 計 142 ヶ所 11,336,700 千円 ・ 林道関係被害 国有林 治山 林地荒廃 約 600ha 林道 28 路線 被害箇所 約 207 ヶ所 被害総延長 16km 立木 105 千 m <sup>3</sup> 事業所用施設等 丸太(素材) 3,300m <sup>3</sup>
		計 17,760,000 千円
	民有林	95 ヶ所、72.29ha、7,490,000 千円

名 称	発生年月日	被 害 の 概 況 等
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業関係被害 農作物 3.7ha 施設被害等 2 棟 農地 6.32ha 農業用施設 溜池 1ヶ所 頭首工 6ヶ所 道路 10ヶ所 水路 11ヶ所 計 28ヶ所 307,600 千円</li> <li>・ 水道施設被害 4 施設 82,500 千円</li> <li>・ 商工関係被害 87 施設 746,940 千円</li> <li>・ 教育関係被害 小中学校校舎、体育館、資料館 国民体育館他 124,000 千円</li> <li>・ 医療施設関係被害 王滝村診療所他 6,100 千円</li> </ul>
群発地震	昭和 60.2.26 午後 7 時 53 分	M 5.2 深さ 3～4km 震源 牧尾ダム西北西 3km (名古屋大学発表) 名古屋市民休暇村が停電となる。 宿泊客打撲負う。 御岳高原管理センターの玄関にクラックが入る。 震度等 三浦ダム 震度 4 11:34 M 3.7 14:53 M 2.7 15:45 M 3.7
群発地震	昭和 63.10.4～10	低周波地震が多発。
群発地震	平成 3.4.20	山体直下で地震多発、以後 6 月まで時々地震多発。
微動多発	平成 3.4.27～ 平成 3.6	5 月 12～16 日微動多発。5 月 20 日の現地調査で昭和 54 年噴火の第 7 火口から火山灰を噴出した跡を確認。第 7 噴火口はこれまで噴気もなかった。昭和 54 年噴火後初めての火山灰。
地震多発	平成 4.11.12	山体直下で地震多発。

(資料：平成元年王滝村地域防災計画、長野県地域防災計画)



## 04 . 行方不明者搜索

搜索範囲	発生年月日	被害の概況等
荻野山	昭和 62.6.2~6.4	出動団員 延べ200名
高原	昭和 63.6.10~6.11	出動団員 延べ87名
村内	平成 3.10.30	出動団員 85名
大又	平成 4.7.30	出動団員 59名
溝口大原周辺	平成 7.6.12	出動団員 77名
溝口大原周辺	平成 13.6.6~6.10	出動団員 延べ202人 他町消防団 96名
村内	平成 14.7.27	出動団員 41名